

部 ^{イカツメシ} 勝飯

スポーツのトレーニング効果を高めるため、練習の前後に頭と体にエネルギー補給する「補食」。学校の部活動の現場でも取り入れられ、さまざまな工夫が凝らされています。江戸川大学学生記者が千葉県各地の高校を訪ね、補食の時間にお邪魔する連載企画「部・勝・飯」ブカツメシ!。今回は、男女で千葉県の水球界をけん引する千葉県立幕張総合高校水球部。マネージャーのつくる個性豊かな「特製おむすび」をいただきました!

千葉県立幕張総合高校

水球部 編

 江戸川大学
EDOGAWA UNIVERSITY



yell sports
Area Sports Magazine
千葉

企画・取材・文
江戸川大学
「yell sports 制作チーム」

江戸川大学下記ゼミ所属の学生たちが「yell sports 千葉」で企画・取材・文を担当する連載企画。

社会学部 現代社会学科 レジャー・スポーツマネジメントコース 広岡敷ゼミ
社会学部 経営社会学科 スポーツビジネスコース 小林至ゼミ
メディアコミュニケーション学部 マス・コミュニケーション学科 神田洋ゼミ



幕張総合高校は学区が広いので、練習が終わってから帰宅するまでに凄く時間のかかる部員がいます。練習後、すぐにエネルギー補給の重要性を感じていたのでおむすびを始めました。マネージャーの手作りので上手にできる時、そう

将来につながる人間力の育成

●顧問

榎枝孝洋

(37歳)

でない時がありますが、みんなうれしそうに食べています。水球は、水泳の要素、球技の要素、レベルが上がってくると格闘技の要素もあります。そして何よりチームスポーツ。いろんな競技の面白さが含まれていることが最大の魅力だと思います。うちは高校から水球を始める部員が9割以上です。いかに成長させるかは私の指導力ですが、いつも言っているのは「下手でも声は出る」ということです。競技力で日本一になれなくても、日本一声を出すチームになろうと言っています。また、野球やサッカーと

違う、将来水球の選手として生活していくことはかなり難しいです。だから、水球が上手くなるだけではなく、他人への思いやりや、コミュニケーション能力、そしてマネージャーや保護者の方やチームを支えてくれる皆様への感謝の気持ちを持つてほしい。将来につながるような「人間力」を身に付けてほしいと思います。日々指導しています。

取材後記

授業終了のチャイムが鳴ると笑顔の部員たちが一斉に専用プールに集合。パワフルなプレー、初めて見る水球の迫りに圧倒されました。

マネージャーは練習開始と同時にお米を炊き、おむすびを作ります。その間、練習のサポートもこなす。まさに水球部の心臓部とも言えるような存在でした。

男子、女子、そしてプレーヤー、マネージャーが本当に一体となり「全員水球」を体現している幕張総合高校。夢の男女全国1勝がかなう日も近いと思います。



●学生記者/坂口空
●社会学部 経営社会学科 スポーツビジネスコース2年

千葉県立幕張総合高等学校

校長：北林 栄峰
〒261-0014

千葉県千葉市美浜区
若葉3-1-6

全日制課程：男女共学

1980年4月、幕張東・西・北の三校が全国初の集合形態をとる学校として幕張新都心の文教地区に設立。その後、1996年4月、新たに千葉県唯一の総合学科・普通科の総合選択制の高等学校として統合された。総合学科、普

通科、看護科と看護専攻科の合計生徒数約2,400名が、全県から通学している。

水球部：2013年に顧問になった榎枝孝洋先生のもと、今年度は男子が関東大会ベスト8、女子が全国大会ベスト8（4年連続出場）など、めざましい活躍をみせている。2年生20名、1年生30名の部員計50名（2019年8月取材時）で男女全国大会1勝を目指し活動中。



つながる指導をしてください。入部した頃、イヤホンをしたまま先生にあいさつをしたらめっちゃ怒られました（笑）。

まずは新人戦の優勝を目指していますが、最終的には先輩たちの代から目標としている全国大会1勝を自分たちの代で成し遂げたいと思います。



イカツ
メシ

千葉県立幕張総合高校水球部の『マネージャー特製おむすび』

POINT

「毎日提供するので飽きないように失敗を恐れずあらゆる具材のおむすびを作る！」

◆白米（30合）

◆具材……だし醤油、マヨネーズ、味付塩こしょう、焼肉のたれ、食べるラー油、ごま塩、いりごま、わかめ、天かす、牛そぼろ、カレーそぼろ、鮭フレーク、かつお梅、梅しそおほか、おほか昆布、塩こんぶ、ふりかけ各種

全員水球がモットー 名倉楓華

(2年生)

おむすびは毎日作っています。合宿の時は朝昼晩と三食を保護者の方と一緒に用意しています。メニューや量も私たちが1カ月前から献立を考へていきます。水球というスポーツは凄く体力を使うので、練習後のエネルギー補給はとても大事です。少しでもプレーヤーの力になればと思って作っています。

中学3年生の時に水球部の見学をする機会があって、すぐにこの部に入りたいと思いました。マネージャーは大変でしょ？と、よく言われるのです

が大変だと思ったことは一度もありません。みんな仲が良く楽しいことばかりです。同じ目標に向かって仲間の過ごす部活の時間が一番楽しいですね。幕張総合高校は「全員水球」がモットーです。マネージャーはプレーヤーと一緒に得点を決めるわけではないですが、得点する過程に私たちが関わっているのだと顧問の榎枝先生にも言われています。とても素敵な部だと思います。プレーヤーと一緒に頑張れるのがやりがいですね。

目指すは全国大会1勝

●男子主将
菅原博己 (2年生)

マネージャーは練習の補助をしながら、並行しておむすびを毎日作ってくれているので、大変だと思いますし本当にありがたいです。練習終わりのおむすびはいつも楽しみですね。水球は泳ぐだけではなく、頭を使って考えながらプレーするのが楽しいです。頭の回転が速くなったような気がします

す（笑）。日々の練習や合宿、試合などで保護者の皆様やOB、他校のコーチの方々と接する機会が多くあります。部活動を通して、その方々に対する礼儀やあいさつなど、将来社会に出て必要なことや感謝の気持ちも学んでいると思います。顧問の榎枝先生はとても厳しく、とても優しい先生ですが、常に次



(左から)手塚葵唯、久我英乃、田熊なほみ、宇井桜子、名倉楓華、伊藤伽林